

氏名 島袋七海

法科大学院等の在籍年次 2年次

---

\*このレポートは主としてこれからインターンシップに行くことを考えている人達に情報提供を行うことを目的とするものです。以下の項目について適宜行数を増やしながら書き込んでいってください。文字数及び頁数に制限はありません。

\*このレポートは、記名で法学研究科のウェブサイトに掲載されます。もし氏名掲載を希望しない場合には、その旨をお知らせ下さい。

\*重要情報についてはできる限り具体的に記載して下さい。また、後輩の方達に向けた率直なアドバイスをお願いいたします。

## 1 受入事務所と滞在期間

受入事務所：TNY（ミャンマー）国際法律事務所

滞在期間：約1か月（8/17～9/15）

## 2 事務所の業務・構成・勤務条件及びインターンシップの内容等

### ○事務所について

- ・メンバー数：約18名（日本人弁護士2名、ミャンマー人弁護士2名）
- ・事務所の業務：法律業務、会社設立業務、知的財産関連業務、通訳・翻訳業務
- ・勤務時間：8時～16時

### ○インターンシップの内容

- ・ミャンマー民事訴訟法の概要のリサーチ
- ・建設委員会の規約のレビュー・英訳
- ・クライアントからの依頼の内容についての調査
- ・YouTubeトピック動画作成
- ・社内プレゼン
- ・英ミャンマー新聞の和約
- ・商標HPのコンテンツ提案

## 3 宿舎及びその他の生活環境について

- ・ホテルではなく、堤先生のご自宅の空き部屋の1つをお借りした。一泊USD20で、日本円で1か月間換算すると約6万円。（私以外にもあと1人のインターン生が借りていた）
- ・シャワー、トイレ、キッチン共同、シャンプー、バスタオル等も持参
- ・私がお借りした部屋は引っ越されるというので、次回から借りられるかは不明。
- ・1泊2500円程・朝ごはん付きのホテルも事務所から徒歩3分程度のところにあるとのこと
- ・食事はすべて外食。一回の食事は安ければ約140円（2000チャット）ほど、高めだと約700円（10000チャット）程。
- ・移動手段は基本タクシーであるため、Grabというアプリをいれておくといい（基本メーターはないので交渉制となるが、Grabがあれば目的地までの料金が先に分かるので安心）。
- ・現地で両替を考えている人は、日本円で持っていくよりもドルで持って行ったほうが良い。あまり日本円を取り扱っている両替所はない（私が行ったときは空港では円は取り扱っていなかった、会社の近くに両替できるところあり）。個人的にはキャッシングがおすすめ。

#### 4 出発に向けた準備等について

- ・英語の勉強は忙しくて、毎朝聞き流し英会話を聞くくらいしかできなかった。
- ・ミャンマーに関する簡単な知識は事前に入れておくとも良いかも（私は行く前に1冊ミャンマーに関する本を読んでいった）
- ・予防注射等は一切打っていない（現地でおなかを壊すこともなかった、しかし壊す人は壊すらしいので不安な人は打っていったほうが良いかも）

#### 5 インターンシップに要した費用

航空券（学校持ち）：約4万8千円

宿泊代：約6万円

生活費：約5万円

バガン旅行費：約4万円（飛行機代が高い、夜行バスはとても安いが半日かかるので体力勝負になると思う）

#### 6 これからインターンに行く人達へのアドバイス等

将来海外で働きたいと思っている人は、ぜひミャンマーに行ってみるべき。短期間な旅行と違って1か月も暮らすとなると思っていたよりも大変。特に日常生活が日本と全然違うので、本当に自分が海外で働けるかを試すいい機会だと思う。「自分が海外に行ってなにをしたいのか」をしっかり考えて行けば、素晴らしい1か月になると思う。

## 7 インターンシップの有用性等に関する評価及び感想

正直、インターンシップに参加した1か月間は楽しかったかというよりも、きつかったという感想のほうが先に出てくる。慣れない海外生活の中、朝8時から16時まで週5日で働き、業務内容も普段読み慣れない英語とのにらめっこ。最初の1週間は早く1か月が終わらないものかと思っていた。

でも、事務所のメンバーやインターン生同士で励まし合いながら、だんだん生活にも慣れてくると、実務を通して自分には何が足りないのかといったことに気づかされるし、改めて自分はなんで法曹になりたいのか、どのような法曹になりたいのかを見つめなおすいい機会になった。仕事で求められていることを通して、今やらなければならないことが見えてきたと思う。このインターンシップは、将来海外で働きたい人はもちろんこのエクスターンシップに参加したほうが良いと思うが、将来法曹になろうかどうか迷っている人にこそぜひ参加をお勧めしたい。自分の将来を見つめなおす大きなターニングポイント…までにはならないかもしれないが、今後のロー生活、その後の将来について新たに考え直すいい機会になった。